

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成17年9月2日(2005.9.2)

【公開番号】特開2004-86277(P2004-86277A)

【公開日】平成16年3月18日(2004.3.18)

【年通号数】公開・登録公報2004-011

【出願番号】特願2002-243008(P2002-243008)

【国際特許分類第7版】

G 0 6 F 3/153

G 0 6 F 3/14

G 0 9 G 5/00

G 0 9 G 5/14

G 0 9 G 5/36

H 0 4 N 5/74

【F I】

G 0 6 F 3/153 3 3 3 B

G 0 6 F 3/14 3 6 0 A

G 0 9 G 5/00 5 1 0 B

G 0 9 G 5/00 5 1 0 V

G 0 9 G 5/14 C

H 0 4 N 5/74 D

G 0 9 G 5/36 5 2 0 P

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月2日(2005.3.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

表示手段を備え、該表示手段の表示画面の画像データをプロジェクタに供給して画像をスクリーンに投射して表示させる情報処理装置において、

前記表示画面の任意の領域が特定されると、その領域の画像データを加工し、前記プロジェクタの表示デバイスの仕様に対応した画像データを生成して前記プロジェクタ側に送信させる画像加工手段を備えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

前記画像加工手段は、前記表示手段の表示画面にガイダンス枠を表示させ、該ガイダンス枠内の画像データを切り出す画像領域設定手段を備えたことを特徴とする請求項1記載の情報処理装置。

【請求項3】

操作部を備え、前記画像領域設定手段は前記操作部の操作により、前記ガイダンス枠の大きさを拡大若しくは縮小し、又はガイダンス枠を移動させることを特徴とする請求項2記載の情報処理装置。

【請求項4】

前記画像加工手段は、前記ガイダンス表示枠内の画像データを加工し、前記プロジェクタの表示デバイスの仕様に対応した画像データを生成することを特徴とする請求項3記載の情報処理装置。

**【請求項 5】**

前記画像加工手段は、該ガイダンス枠内の切り出された画像データを前記表示手段の表示画面の大きさに合わせて拡大又は縮小する映像制御部を備えことを特徴とする請求項4記載の情報処理装置。

**【請求項 6】**

前記画像加工手段は、前記映像制御部により加工された画像データを更にプロジェクタ側の表示手段の解像度に合わせてリサイズ処理をするリサイズ手段を備えたことを特徴とする請求項5記載の情報処理装置。

**【請求項 7】**

前記画像加工手段は、前記表示手段の表示画面に、該ガイダンス枠を表示させるためのメニュー表示手段を備えたことを特徴とする請求項2～6の何れかに記載の情報処理装置。

**【請求項 8】**

前記画像加工手段は、前記表示画面に表示された複数のウインドウの内、任意のウインドウが指定されると、その指定されたウインドウの画像データを切り出す画像領域設定手段を備えたことを特徴とする請求項1記載の情報処理装置。

**【請求項 9】**

前記画像加工手段は、前記表示画面に表示された複数のウインドウの内、任意のウインドウが指定されると、その指定されたウインドウの全体の画像データを取り込む画像領域設定手段を備えたことを特徴とする請求項8記載の情報処理装置。

**【請求項 10】**

前記画像加工手段は、前記指定されたウインドウの全体の画像データを加工し、前記プロジェクタの表示デバイスの仕様に対応した画像データを生成することを特徴とする請求項9記載の情報処理装置。

**【請求項 11】**

前記画像加工手段は、前記指定されたウインドウの全体の画像データを前記表示手段の表示画面の大きさに合わせて拡大又は縮小する映像制御部を備えことを特徴とする請求項10記載の情報処理装置。

**【請求項 12】**

前記画像加工手段は、前記映像制御部により加工された画像データを更にプロジェクタ側の表示手段の解像度に合わせてリサイズ処理をするリサイズ手段を備えたことを特徴とする請求項11記載の情報処理装置。

**【請求項 13】**

前記画像加工手段は、前記表示手段の表示画面に、ウインドウを選択させるためのメニュー表示手段を備えたことを特徴とする請求項8～12の何れかに記載の情報処理装置。

**【請求項 14】**

画像データを供給する請求項1記載の情報処理装置と、  
前記情報処理装置から供給された画像データに基づいて画像を生成してスクリーンに投射して表示するプロジェクタと  
を備えたことを特徴とするプロジェクタシステム。

**【請求項 15】**

請求項1記載の情報処理装置の画像加工手段をコンピュータにより実現させることを特徴とするプログラム。

**【手続補正2】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

(8) 本発明の他の態様に係る情報処理装置は、上記(1)の情報処理装置において、前

記画像加工手段は、前記表示画面に表示された複数のウインドウの内、任意のウインドウが指定されると、その指定されたウインドウの画像データを切り出す画像領域設定手段を備えたものである。前記プロジェクタ側ではその画像データを受信すると、その画像データに基づいて、上記にて指定されたウインドウの画像が表示される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

(14) 本発明の他の態様に係るプロジェクタシステムは、画像データを供給する上記(1)に記載の情報処理装置と、前記情報処理装置から供給された画像データに基づいて画像を生成してスクリーンに投射して表示するプロジェクタとを備えたものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

(15) 本発明の他の態様に係るプログラムは、上記(1)の情報処理装置の画像加工手段をコンピュータにより実現させるものである。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】